

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年3月29日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103920
法人名	社会福祉法人 陵風会
事業所名	グループホーム西谷山
所在地	鹿児島県鹿児島市上福元町5604番地 (電話) 099-260-1343
自己評価作成日	平成29年11月30日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成30年3月17日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・共同生活において明るい家庭的な雰囲気の中で、日常生活のお世話及び生活リハビリを行うことにより利用者様がその有する能力に応じた生活が出来るよう明るい笑顔の絶えない雰囲気作りを念頭において運営を行なっています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 当ホームは、谷山市街地に位置し周辺は住宅街であり、近隣に保育園やコンビニエンスストア、大型スーパーなどがある閑静な環境である。
- 1階ユニットは、車いす移動の方が多いが2階ユニットは福祉用具を活用され移動する方、見守りにて独歩で移動される方がおられる。両ユニット平均して要介護度2.6程度で認知症の自立度は比較的に高い。また、身体的な機能では活動性が高く、転倒のリスクも高い方が多いため、職員は、住環境を整備し、ふいに外に出て行かれる方などには安心して暮らしていただけるよう声かけをしたり、自然に寄り添いコミュニケーションを取りながら一緒に散歩に行くなどしている。建物の構造上玄関の施錠はしているが、年1回は研修を計画・実施し、個別のカンファレンス、勉強会などで身体拘束をしないケアについて知識や技術を研鑽することに努め身体拘束をしないケアに取り組んでいる。
- 職員は、利用者の好みを聞き取り、能力に応じて食事の準備をお手伝いいただくなどしてともに食事を楽しむことができるよう支援をしている。月1回は、外食を楽しんだり、行事食(おせち料理、節分、誕生日など)を工夫するなどして食卓で季節を感じるができるよう取り組んでいる。また、朝食にヨーグルトを提供し便秘予防を図ったり、菜園で採れた旬の野菜などを料理に活用するなどして食事を楽しんでいただいている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所内に理念を掲げ、朝礼時に唱和することで理解し合い共有し、日々のサービスに活かせるように取り組んでいる	管理者は、各ユニットごとに異なる理念を統一し、共有化して職員会議などで振り返るよう見直しを検討している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入しており、近所のスーパーへ買い物に出かけたり、毎日の散歩をしながら地域の人たちとの交流を図っている	町内会長や民生委員などを通じての情報交換やボランティアの受け入れをおこなうなど地域交流を目標に取り組んでいる。職員は、日常的に散歩を支援し地域の方とつながりながら生活できるよう努めている。また、管理者は、地域との関係を深めたいと検討している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	中学生の職場体験学習や高校生の看護学実習など積極的に受け入れている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者のご家族、地域の民生員、行政の担当者等に参加して頂き、現状報告等を行い、アドバイスを頂きながら、サービスの向上に活かせるように取り組んでいる	質疑応答は活発に実施され議事録は、口語体で記述して会議の内容がわかりやすいよう工夫している。管理者は、家族の参加しやすい日程調整を検討しており今後の課題だと考えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村とは、常に連携を図り、現状報告や相談、助言・指導を頂き、問題解決に取り組んでいる	市担当者とは協力体制があり、電話や面談、運営推進会議などで報告や相談、助言などをいただいている。職員は、市主催の研修会に出席したり、介護相談員を受け入れるなどしてサービスの質の向上に取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束マニュアルがあり、職員が身体拘束について理解しており、定期的な勉強会や日々のケアの中で知識向上を図っているが、玄関の施錠が必要な時もある	ふいに外に出て行かれる方や時間帯や状況により落ち着きがない方がおられ、建物の構造上安全面に配慮し玄関を施錠している。職員は、身体拘束の廃止に向けた勉強会を年2回実施し、行動を抑制することがないようにケアしながら、なるべく戸外を散歩するなど本人主体に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内勉強会や外部の研修会へ参加し、全職員は虐待の意識を持っており、防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今のところ学ぶ機会が乏しく、今後学ぶ機会を持ち活用できるように努めたい		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時に重要事項や契約書をご家族に説明し、十分納得して頂いた上で契約を結んでいる。また、改定等については文書で説明を行ない、理解・納得をいただいている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関受付に意見箱を設置している。また、面会時にはご家族に要望や意見がないか随時伺うようにしている</p>	<p>管理者や職員は、互いの関係性を良好に保ちながら利用者や家族が意見や要望が出しやすい雰囲気作りに努めている。出された意見は、職員会議などで話し合い、運営やサービス向上に活かしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議やカンファレンス等にて職員から意見や提案を聞き、みんなで話し合い、運営に反映できるようにしている</p>	<p>人事考課システムがあり、法人職員の面談を実施している。管理者は、職員の健康面、有給休暇取得や職場環境に配慮したり、年2回食事会の機会を設けて親睦を図っている。また、1階と2階の職員のローテーションを実施するなど勤務体系を見直している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>働きやすい雰囲気作りに努めている。また、職場環境・条件の整備に努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内での勉強会や外部の研修に参加してもらい、サービス及び知識の向上に取り組んでいる</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>出来る限り研修会へ参加するようにしている。また、訪問や電話で意見交換できる同業者がいる</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族・関係事業者等から本人の情報収集や直接本人と接する中で本人の話を傾聴し、思いや不安を受け止められる関係作りに努めている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>見学や面談の際にご家族の不安な点や要望等を聞くようにしている。又、面会時には日頃の様子を伝え、意見や要望を伺えるような関係づくりに努めている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>見学や面談の際に見極めている。サービスが難しいケースも相談を受け、必要に応じて各関係機関に相談し対応している</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>日常の作業など出来る事の役割を担ってもらい、一緒に楽しみながら行なっている。また穏やかな生活が送れるように常に会話をしよう心がけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話、西谷山通信にて日頃の生活の様子をご家族へお伝えし、情報を共有しながら共に支え合っているようにしている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人や友人の訪問時には居室にてゆっくり過ごして頂けるように配慮したり、ご家族の協力を頂きながら、馴染みの場所へ行くよう支援に努めている	職員と一緒にスーパーに買い物に行き好きな菓子などを購入される方や、家族と理美容店、墓参りされる方がおられる。また、知人、友人の来訪時は、面会室や居室でくつろいでもらうなど配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同時の関係を把握し、座席の工夫をしたり、利用者同士が楽しく交流できるように支援に努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の施設へ入所される際には情報を提供したり、相談に来られた時には相談や支援に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で本人の声を聞き、把握に努めている。また、聞き取り難い場合でも、仕草や表情等から汲み取り、本人の意向を取り入れられるようにしている	意志疎通が困難方などは、朝礼で情報を共有し、本人の思いを把握するなどして思いを汲み取り、本人の思いに寄り添うケアに努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・ご家族の方より生活歴・環境などの情報収集し、カンファレンス等で全員が把握できるように努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の中で観察や記録を通し把握したり、カンファレンス等で情報を共有し把握できるように取り組んでいる		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者・家族・スタッフ等で話し合いを持ち、意見やアイデアを出し合ってプランに反映させ作成している	介護計画は、本人の日々の暮らしぶりや目標の達成状況、モニタリング結果を踏まえ、カンファレンスなどで話し合いながら、再アセスメントを実施し、次の目標の設定やサービス内容の見直しなど、担当者会議を通じて柔軟に取り組んでいる。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録に毎日の気づきやニーズに沿った内容を記録し、カンファレンスや申し送りにて情報共有に努め介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者やご家族のニーズを把握し、常にニーズに対応できるように取り組んでいる		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	訪問美容サービスなど活用している。また、近隣のスーパーへの買い物、日常的に散歩へ出かけるなど地域で楽しめるように支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は、本人とご家族の意向を尊重しており、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望するかかりつけ医となっており、外来や他科受診は家族付添いを原則としているが、協力医の受診は職員が同行している。病態などに変化がある場合などは、受診時に文書にて情報提供するなど家族や医療機関と連携している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常の気づきや情報を週1回医療連携の看護師さんへ伝え、相談や適切な受診が受けられるように支援している</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入退院時には情報提供を相互に行なっている。職員が面会をしたりして情報の共有・連携を図っている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>利用者・ご家族の気持ちを汲み取り、主治医を含め状態の変化に応じて話し合う機会を設けている</p>	<p>重度化や看取りについての指針を契約時に文書にて説明し、同意をいただいております。看取りの実績もある。オンコール体制があり、法人の医療機関との連携や主治医との医療連携が図られている。管理者は、緊急時や段階に応じた医療や看取りの対応についてその都度の利用者、家族の意志確認を文書化したいと検討している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時や事故発生に対応できるよう、応急手当などの研修を受けている。また、緊急時対応マニュアルがあり、いつでも見られるように掲示してある</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>マニュアルを作成し、避難訓練を年2回、消防隊に来てもらったり、自主訓練を行っている。地域の協力体制を呼び掛けている</p>	<p>避難訓練は年2回実施しているが、管理者は、地域の協力体制が薄く今後の課題だと考えている。2階の避難は、実際に非常階段を使用し訓練したり、自主訓練時に避難経路の確認などをおこなっている。また、水やお粥などの備蓄をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の人格を尊重したサービス、自尊心を傷つけないよう丁寧な言葉かけをスタッフ全員で話し合い対応している	普段から、利用者への言葉かけや使い方が馴れ合いになったり、失礼にならないよう職員同士注意しているが、呼び方はその方に合ったように検討しており、職員全員が共通認識して取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者がしたい事や食べたい物等会話の中で希望や意見を尊重し自己実現できるようにしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れは計画しているが、1人ひとりの体調や意向に配慮しながらその人のペースで過ごして頂いている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	身だしなみの自己決定が出来る方は、ご自分で選んで頂いている。出来ない方は、ご家族が購入された物を職員が選んでいる。2ヶ月に一度訪問美容をお願いしている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と一緒に食事の準備や食事をしている。また、家庭菜園で出来た野菜・果物を収穫し食したりして楽しんでいる	ミキサー食や刻み食など食事形態を工夫したり、介助を受け食事が楽しめるよう支援している。また高カロリー食の提供、行事食や手作りおやつ、外食を月1回楽しんでいる。職員は、能力の応じて食事の準備をお手伝いしてもらうなど食の自立に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分量を毎日記録しスタッフで情報を共有している。また、月1回体重測定を行い、体重の増減に気をつけている。好き嫌いがあり必要な方には個別に対応している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々の力に応じた歯磨き支援を毎食後行なっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表で排泄リズムを把握し、声掛けや誘導を行なっている。	布下着の方やリハビリパンツを使用される方、テープ式のおむつを使用される方もあり、定時に交換したり、トイレ誘導にて排泄介助するなど排泄の自立支援に取り組んでいる。ポータブルトイレは、なるべく居室に置かないよう配慮されている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝の食事にヨーグルトを提供している。水分補給や食事内容を工夫し予防に取り組んでいる必要に応じて主治医へ相談し、薬は状態に応じて調整している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	計画的な入浴を行なっているが、希望や体調不良等あれば臨機応変に入浴できるようにしている。毎日入浴や清拭等実施している	希望があれば毎日入浴される方もあったり、本人に合った入浴方法や本人本位に支援するなど一人ひとりの希望に沿った入浴支援を実施している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	リネンや衣服・空調の調整を行い本人のリズムに合わせて休息して頂いたり、安心できる声掛けを行ない気持ちよく入眠できるように支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書・受診時の記録を整備し情報の共有を図っている。確実な服薬を行い確認し、薬の変更時には全スタッフが記録や申し送り把握できるようにしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯たたみや台所の手伝い等その人にあつた役割をお願いしている。また、日常のお茶の時間に嗜好品を提供したり月の行事で外食を行ない気分転換を図り楽しんでいる		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外食・ドライブへ出かけたり、利用者の希望を尊重し、一緒に買い物に出かけたり、散歩等個別にスタッフが付き添って外出している。また、家族と連携して外出や外泊が出来るように支援している	花見の時期には、市街地まで足を延ばし桜見物を満喫したり、ドライブを兼ねて花見も楽しんでいる。また週2回職員が買い出しに行く際に、スーパーに同行し欲しい物を購入される方、天候を見ながら毎日散歩をされる方、外食は利用者の毎月の楽しみの一つである。家族との外出を楽しまれる方もおられる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>一人ひとりの希望や力に応じて買い物時にお金を所持し好きな物を買ってもらうように支援している。それ以外の方は、施設でお金を預かりいつでも使えるように支援している</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望や家族からの電話の際は電話が出来るように支援している</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関ホールには、季節の花を飾るなど清潔さを保つよう毎日掃除し、また、湿度・温度・換気などの環境にも考慮し、居心地のいい環境作りをしている。また、カレンダーや壁飾り等季節に応じて一緒に作り、施設内においても季節感を味わえるように工夫している</p>	<p>玄関から、ゆったりとした共有スペースが見える構造になっている。1段上がった畳コーナーでは、洗濯物を畳む光景や対面キッチンで食事の準備をお手伝いされる方がある。季節に合った置物や、外出時の写真や折り紙などが掲示されている。2階は、エレベーターでの移動だが、行事は、1階にて合同で楽しんでいる。掃除が行き届き清潔感があり家庭的な雰囲気である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間の広さが限られているが、利用者が利用しやすく落ち付ける位置を考えてソファや椅子を設置している。天気の良い日は日光浴を楽しんでいる</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が落ち着くように本人・家族と相談して、家具（テレビ・箆筒等）や家族写真等を持ち込んでもらい、安心して暮らせる居室となるよう工夫している	重度化もあり、本人の身体状況や残存機能を検討し、ベッドの変更を法人に相談したり、住環境を整備するなど工夫している。馴染みの物を持ち込み居心地よく過ごせるよう配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全フロアバリアフリーであり、廊下や風呂場等動線に合わせた手すり等の工夫がされ、安全に配慮されている。また、利用者の特性に合わせて戸惑いや混乱が生じないように、目印や表札などを手作りし設置している		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない